

宗門の復興支援活動続く

原発事故の影響で深刻な物資不足

福島・南相馬市へ支援

東京・現地本部が市長と支援方針を協議

東京教区現地緊急災害対策本部（本部長：山本政秀教務所長、築地別院内）は4月3日、原発事故の影響で物資が届かない福島県南相馬市の市役所を訪れた（写真）。レトルト食品や米などを差し入る方の中村尚司専務

理事が福島県庁職員と連絡を取り合う中で実現。南相馬市が物資不足で孤立無援となつてゐることを知った同本部が支援を申し出た。協議は桜井市長と中村専務理事、山本本部（NPO「JIPPO（十

れ、桜井勝延市長と面談。風評被害や物資不足の現状を聞き、今後（支援方針などを協議した。この訪問は、宗派が基盤となって設立したNPO「JIPPO（十

川町体育館に届けた。また、その時に市民から要望されたテレビ（大阪教区から提供）を後日届け、福島県い化のために同県二本松市に活動拠点を設ける。市に活動拠点を設ける。問い合わせは東京教区現地緊急災害対策本部。



川町体育館に届けた。また、その時に市民から要望されたテレビ（大阪教区から提供）を後日届け、福島県い化のために同県二本松市に活動拠点を設ける。市に活動拠点を設ける。問い合わせは東京教区現地緊急災害対策本部。

わき市内の避難所へ物資を搬入し、炊き出し準備を進めている。問い合わせは東京教区現地緊急災害対策本部。

4月6日には、築地郵便局も停止している現状や、市民の大半となる1万4000人がラックに積んで同市小

市長は、原発事故の影響で物資が搬入されず商店が閉まり、銀行や郵便局も停止している現状や、市民の大半となる1万4000人が

この後、同市の常福寺、光慶寺、勝縁寺を訪ねた。

4月6日には、築地市場で購入した野菜など支援物資を、2ントラックに積んで同市小

ら要望されたテレビを行った。